

クロスワードタイム

新入組合員の皆さん、ようこそクロスワードタイムに！ みんなで言葉のゲームを楽しみましょう。二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■×切:5月25日(金) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント: 王 貞治、長嶋茂雄、松井秀喜...

1	2		3	4	5	6		7
8			9					10
11		12				13	14	
15				16	17			
18			19		20			
21			22				23	24
25		26		27		28		
	29			30			31	32
33		34				35		
36			37					

ヨコのカギ

- 「○」が上流にある海を登ると竜になるという故事から、立身出世のたとえ。「○の○○○」。
- 「甘○」「辛○」「○を慎む」。
- 1997年に日本に帰化し、日本代表でも活躍したブラジル出身の元プロサッカー選手。「呂比須○○○○」。
- 家財・商品などを安全に保管するための建物。倉庫。
- 教授などの指導のもとに、少人数の学生が特定のテーマについて研究し、報告・討論するもの。
- 書物や作品の標題。
- コピーライター「○○重里」。
- 博物館、美術館。
- 関心や注意が一つのところに集中せず、他のものへと移ってゆくこと。
- きらきら光ること。
- 古代インドで広く行われた宗教的実践法。現代では心身の健康法としても応用されている。
- 物事の道理。また、確かな理由や根拠のある関係。「文句を言われる○○○はない」
- サンジャーの長編小説。「○○麦畑でつかまえて」。
- 酒・醤油などの醸造元。
- 考え方や行動に影響を与えて、自然にそれを変えさせること。「友人に○○された」
- 物事の状態があとになるほどよくなっていくこと。
- 行い。振る舞い。しわざ。
- 漫画家・ハロルド作石による日本の少年漫画・音楽漫画作品。
- オーストラリア全域の草原や砂地などの拓けた土地に分布しているダチョウに次ぐ大きさの鳥。
- 「○に並び」「話が○にそれる」「首を○に振る」。
- コンピューターのデータをプリンターで印刷すること。

タテのカギ

- 税務行政の地方拠点として、税務署の指導・監督、大規模法人等の税務調査、査察などを行う地方支分部局。
- 唐辛子だけを砕いて細かくした香辛料。
- 塔。また、塔状の高層建築物。
- 人が中に入って演技する動物やマスコットなどの衣装。
- ラテン語で9の意。
- 境界線。物事の境のあたり。
- 首相(内閣総理大臣)のこと。「○○○○ミニスター」。
- 1924年2月8日生まれの俳優&ナレーター。
- 2001年に結成。ポケの壘とツッコミの土屋の漫才コンビ。
- ことさらに厳しく扱う。「トレーニングでからだを○○る」。
- 積もった雪の反射で、夜も周囲が薄明るく見えること。
- 多数の中から条件に合うものを選び出すこと。また、それを一覧表にすること。
- 差し込むこと。
- 守る者。山野・陵墓・関所などの番人。
- とある山羊の軟毛を用いて綾織りにした、滑らかで光沢のある最高級の毛織物。
- 学問上の理論または原理。
- 必要分以上に余りがあること。また、限度いっぱいまでには余りがあること。
- タレントのヒロミの妻。「松本○○」。
- 十干(じゅかん)と十二支を組み合わせたもの。

Vol.814クロスワード 正解と当選

答えは「明治維新(メイジイシン)」でした。

イ	チ	フ	ジ	ニ	タ	カ	ド	ル
タ	イ	ア	ン	キ	チ	ジ	ツ	一
ツ	イ	ギ	リ	ス	バ	リ	キ	
キ	リ	ア	ナ	ク	ロ	ス	バ	一
カ	ビ	キ	キ	ミ	ミ	一	一	
マ	エ	ワ	タ	シ	オ	ト	サ	タ
ボ	ラ	ン	タ	ア	メ	イ	ン	
コ	カ	カ	ク	タ	イ	ド	キ	
リ	ツ	イ	フ	ン	カ	カ		
メ	ン	プ	ウ	タ	ガ	ツ	セ	ン

多数のご応募ありがとうございました。

- 佐藤 拓(青木あすなろ)、青山 匠、山口典子(アサヌマ)、加藤 修、吉岡 健、笹 詩子(安藤ハザマ)、五宝久充、伊藤梨香(奥村)、逸見知生、堀内裕美子、大前宗己(鴻池)、松瀬陽一郎(五洋)、宮原正憲(佐藤)、新家崇熙(鉄建)、後藤広長(大日本)、中島陽子(大鉄)、山木秀友(東洋)、茂木公太、苅部靖志、石原梨那、近藤尚子、長谷則子、下野谷和也(飛鳥)、大久保美麻、菅山孝志(西松)、柳橋 等(JS)、峯 純子(ピーエス三菱)、安井敏夫(松村)、中野礼子(丸彦)、東井克巳(三井住友) <敬称略>

編集後記

心待ちにしていた春がきました。街中では真新しいスーツを身にまとった多くの新社会人を見かけます。期待と不安が入り混じりながら新生活をはじめた10数年前を思い出して、思わず「頑張れ!」と応援したくなります。

さて、今号では、海外での買い物事情を通して組合員の海外生活の一端をお伝えしました。企画にあたり東南アジアをはじめ、中央アジア、中東、アフリカ、中米など世界各地にいる組合員にご協力いただきました。中には何処にあるのか分からないような国にも組合員がいて、ゼネコンの海外事業が世界中に拡大していることも垣間見られました。この他にも、国際産別組織BWI世界大会の参加報告も掲載しています。

また、建設産業の「ヘン」なこと解消にむけ議論いただいた女性技術者会議や、学生の就職意識も掲載しました。改正が見込まれる労働基準法「時間外労働時間の上限規制」の解説も必読です。次回のCompassもお楽しみに。

舟い

「東出身者は西へ、西出身者は東へ、最初の配属先は出身地とは逆になるぞ。そのあとは全国どこでも転勤だ!それでもいいか?」就職面接時に言われたコトバである。「千葉から出た事がなかったのでむしろ色々な所へ行けるのは楽しみです。」なんて模範的な回答をした記憶が蘇る...、その時は本心でもあったので嘘ではない、ただ最終的に関東へ戻りたいと思っていた。結局、最初の配属先は東京で、その後、仙台、広島、東京と転勤し現在に至る。「住めば都」のことわざどおり、縁もゆかりもなく知人もいない地域や職場であっても住み慣れるとそこが居心地よく思えてくる。転勤族という言葉があるほど日本では転勤が一般的だ。若い頃、職場に少ない同世代との出会いを求めて週末は社外のフットサルクラブに通ったり、異業種交流会などに参加したりしていた。当時、飲み会で知り合った人のお誘

いを受けてセミナーに参加してみたら競馬必勝ソフトの販売会だったなんて失敗談も(笑)。ある程度歳を重ねると転勤に対する感じ方が変化してくる。結婚や子育てなど人生におけるイベントでも違ってくるのだろう。ワーク・ライフ・バランスの実現についても転勤も含めた理想の仕事と理想の生活は個人の考え方で違うものだ。作業所の業務が人工知能やロボットに代替されて、全員が在宅勤務できるところまで進んだ先はどうなるのだろう。せつかく単身赴任を満喫されている方にとっては迷惑な話となるのかも。ずっと同じ地域に住んで慣れ親しんだ仲間と消防団に入って週末の会合後は焼鳥屋で一杯、そんな生活が理想かもしれない。吉幾三の曲「Dream」をBGMに焼鳥屋で独りぼんやり今後を考えている。(転勤希望先はラーメン天国)